

2015年 医学部 第3問

- 3 a, b を実数の定数とする。Oを原点とする座標空間内に3点 $A(1, 2, 0)$, $B(2, 0, 4)$, $C(a, b, 1)$ がある。

三角形OABにおいて、点Oから直線ABに下ろした垂線と直線ABの交点をHとする。点Hの座標は

$$\left(\frac{\boxed{ア}}{\boxed{イ}}, \frac{\boxed{ウエ}}{\boxed{オ}}, \frac{\boxed{カ}}{\boxed{キ}} \right)$$

である。

点Aから直線OBに下ろした垂線と線分OHの交点をKとする。点Kの座標は

$$\left(\frac{\boxed{ク}}{\boxed{ケ}}, \frac{\boxed{コ}}{\boxed{サ}}, \frac{\boxed{シ}}{\boxed{ス}} \right)$$

である。

\vec{OA} は \vec{BC} に垂直で、 \vec{OB} は \vec{AC} に垂直であるとする。このとき $a = \boxed{セソ}$, $b = \frac{\boxed{タ}}{\boxed{チ}}$ である。以下で、 a, b はこの値であるとする。

線分CK上に \vec{OL} が \vec{AC} に垂直になるように点Lをとると

$$\vec{OL} = \left(\boxed{ツ}, \boxed{テ}, \frac{\boxed{ト}}{\boxed{ナ}} \right)$$

である。そのとき、 \vec{LK} は \vec{OA} , \vec{OB} に垂直である。

平面OABにおいて、三角形KABの外接円の周上に点Pをとると、線分LPの長さの最大値は $\sqrt{\frac{\boxed{ニヌ}}{\boxed{ネ}}}$ である。